

野田市教育委員会定例会会議録

- ◇日 時 令和3年8月18日（水）午前9時開会 午前9時39分閉会
- ◇場 所 野田市役所低層棟4階委員会室
- ◇出席委員 染谷篤教育長 伊藤稔教育委員 高橋保教育委員 飯田芳彦教育委員 永瀬大教育委員
- ◇説明職員 山下敏也教育次長（兼）生涯学習部長 戸塚進生涯学習部次長（兼）教育総務課長 安藤剛行生涯学習課長 桑村典子青少年課長（兼）青少年センター所長 葛西真理子興風図書館長 下川泰弘学校教育部長 中居章学校教育部次長（兼）学校教育課長 角田敏雄指導課長

◇書 記 鈴木一敏教育総務課長補佐（兼）庶務係長

◇教育長の報告事項

- ・学校教育課
  - （1）新型コロナウイルス感染症の対応について
  - （2）令和3年度野田市学校給食運営委員会会議の概要報告について
- ・指導課
  - （1）児童生徒の諸活動について
  - （2）野田市イングリッシュ道場について

◎染谷教育長

ただいまから、令和3年8月教育委員会定例会を開会いたします。

本日、傍聴者はありません。

それでは、会議を始めます。本日の会議録署名委員を、永瀬委員にお願いします。

(永瀬委員了承)

◎染谷教育長

会議録承認の件に入ります。令和3年7月定例会の会議録について、事前に資料を配付しているところですが、御意見等ございませんでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎染谷教育長

御異議なしと認め、会議録につきましては承認します。

次に、会議次第に従い議題に入ります。

本日の議題は、報告事項4件となっております。議案がございませんので、教育長の報告事項に入ります。報告事項に対する御質問、御意見等につきましては、報告事項の説明終了後に、一括してお受けしたいと思います。

初めに、学校教育課からお願いします。

学校教育課長。

◎中居学校教育課長

学校教育課より、新型コロナウイルス感染症の対応について報告させていただきます。

8月2日に千葉県内に緊急事態宣言が発せられ約半月がたちました。緊急事態宣言期間は、野田市内での感染者の増加に伴い、児童生徒の感染状況も増加傾向にあります。前回の7月28日の教育委員会定例会以降21日間で、陽性者と判定された児童生徒及び教職員は、15件、計18名となっております。いずれも保健所は夏季休業期間中であり、最終登校日からの期間が開いているため、特別な対応は必要なしと判断いたしました。感染のほとんどが家庭内感染ですが、以前と比べ家庭内で陽性者が発症した場合、家族の多くが陽性になる確率が高い傾向にあり、デルタ株の感染力の強さが数字からも分かります。学校は8月30日まで夏季休業中となりますが、まだ油断のできない状況には変わりはありません。機械警備後、感染拡大の状況によっては、まちコミメール等の学校の連絡メールを活用して、家庭での過ごし方について再度注意喚起を促していきます。8月31日から教育活動が行われますが、引き続き、文部科学省や県が発出するマニュアルやガイドラインを参考に、家庭と協力し、学校でのコロナ感染防止に全力を尽くすよう学校を指導してまいります。

最後に、教職員の余剰ワクチンの協力接種について報告いたします。前回7月28日の定例会で、約500名が協力接種を受けたという報告をさせていただきました。協力接種については、8月6日から12歳以上の希望者接種の予約を開始したため、教職員への協力接種については8月6日をもって終了することになりました。しかしながら、各学校において、ワクチン未接種の教職員が一定数いるということ踏まえ、8月6日、金曜日、8月8日、日曜日に希望者約100名の職員が優先接種を受けることができました。5月29日より協力接種が開始され、約600名の職員が協力接種をすることができました。これは、市職も含めた人数の約70%近くとなっております。また、各自治体や職域接種の数を含めると、更に高い割合で接種を受けたこととなります。8月31日から学校が再開されます。教職員が感染に対して不安を感じず、子供への指導ができることに対して改めて感謝いたします。

続いて、令和3年度野田市学校給食運営委員会の概要について御報告申し上げます。

資料は、1ページです。7月17日、土曜日に、市役所8階大会議室で実施しました令和3年度野田市学校給食運営委員会の議事内容について御報告申し上げます。

協議内容の(1)令和2年度の賄材料費の執行状況について説明し、了解を得ました。内容としましては、基準単価として1食当たり小学校の単独校257.98円、センター校257.98円、中学校の単独校305.95円、センター校309.07円を設定し、その設定額のプラスマイナス3%以内で適正に執行するよう努めましたが、昨年度はコロナ禍による臨時休業、学校再開後の簡易メニュー等により例年以上に予算管理が難しく、各月プラスマイナス3%に収めることが難しい面があったこと、令和2年度野田産米補助額において不用額となった1,403万円は、例年であれば全額を令和3年9月議会において増額補正させていただくところ、今年度は臨時休業した場合のキャンセル不可食材を保護者負担としないための支払見込額と、コロナ禍以前の平均不用額との合計額を増額補正することで、翌年度以降に不用な執行残が生じないよう調整した額231万円を9月議会で補正させていただくことを説明しました。

(2)給食費の未納状況及び未納対策について説明し、了解を得ました。未納状況は、現年度分の収納率は向上している一方で、過年度分は下がっているが、昨年度はコロナ禍で例年行っていた臨戸徴収を見合わせたことも一因と考えていること、令和元年10月から悪質な滞納者の一部を法律事務所に回収委託しており、令和2年度の実績として3世帯から22万円を回収したことを説明しました。

報告事項としまして、(3)地産地消の実績及び今後に見通しについては、引き続き地元農家からの野菜供給を積極的に行うことを説明しました。

(4)のその他としては、3月分の給食費集金額及び臨時休業による給食中止について、給食における新型コロナ対策について、給食における食物アレルギー対応について、給食食材の放射性物質検査についての4点に加え、学校給食施設の課題についてを出席された副市長から御説明させていただき、市の施設の老朽化対策の中でも給食センターは緊急的課題であるとして、来年2月に予定している第2回会議において一定の方向性を示せるよう、現在庁内会議を軸に検討を進めていることを報告しました。

以上で報告を終わりにいたします。

#### ◎染谷教育長

次に、指導課からお願いします。

指導課長。

#### ◎角田指導課長

それでは、児童生徒の諸活動について御報告申し上げます。本日は、県大会で上位入賞、小中体連主催の関東大会に出場し、全国大会に出場予定の生徒を御報告いたします。

まずは、水泳競技の部です。岩名中学校2年生は、県大会において男子100メートルバタフライで1位、男子200メートルバタフライで2位入賞となりました。現在、習志野市にございます千葉県国際総合水泳場で実施中の全国大会に出場しております。また、南部中学校2年生は、県大会女子200メートル背泳ぎで標準記録を突破し、横浜国際プールで行われた関東大会に出場し、6位に入賞しております。北部中学校1年生は、県大会において200メートル個人メドレーで標準記録を突破し、関東大会で47位の成績を収めています。

続きまして、陸上競技の部です。岩名中学校3年生は、県大会で男子800メートルに出場し、2位に入賞しております。また、その後、県通信の記録を経て、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で行われた関東大会では共通1,500メートルに出場、12位という結果でし

た。現在、茨城県の笠松運動公園陸上競技場で実施中の全国大会に駒を進めております。続きまして、木間ヶ瀬中学校1年生は、県大会では男子1年生1,500メートルに出場し第3位、その後、関東大会では9位の成績を収めています。南部中学校3年生は、県大会女子共通100メートルに出場し3位、関東大会では200メートルに出場し、見事1位入賞。全国大会に出場中です。同じく南部中学校3年生は、県大会女子共通100メートルハードル1位、関東大会でも14秒という好タイムで1位入賞です。現在、全国大会に出場中です。南部中学校はリレーでも大活躍で、女子リレーチームは、県大会1位、関東大会3位という成績でした。彼女たちは今、全国大会に出場中です。木間ヶ瀬中学校3年生は、砲丸投げ県通信大会2位の記録を経て関東大会に出場し、9位となりました。

最後に、柔道の部です。第一中学校3年生は、県大会55キログラム級で1位、関東大会へ駒を進めましたが、2回戦敗退となっております。

続きまして、イングリッシュ道場について御報告いたします。

イングリッシュ道場は今年度で6回目、昨年度はコロナ禍にあって中止いたしました。イングリッシュ道場は、中学生に英語を使って自己表現しようとする意欲を育てるとともに、自ら英語学習に取り組もうとする態度を養うことを目的としています。野田市中央公民館を会場に、市内の中学2年生と3年生の受講希望者に参加していただくよう準備を進めてまいりましたが、緊急事態宣言発令のため、8月に予定していた2年生対象の道場は中止としました。中学3年生のみ、7月28日、29日と2日間実施いたしました。

内容といたしましては、生徒を個人又は2、3人のグループに分けて、それぞれ外国語指導助手ALTのサポートの下、ALTが作成したオリジナルプランによるコミュニケーション活動を行いました。また、アメリカジョージア州在住のALTの友人とオンラインでつなぎ、相手への質問や日本文化の紹介等、英語での交流を行いました。

成果といたしましては、終始和やかな雰囲気の中、ALTとともに、どの生徒も楽しく英語学習に取り組めました。終了後に生徒に行ったアンケートでは、2日間のALTとのコミュニケーション活動を通して、英語を使って外国の方々と話をする楽しさや、今後の英語学習に向けての意欲が書かれていました。課題といたしましては、ALTからの質問に答えることはできても、自分からALTに話しかけることにはちゅうちょしてしまうという点です。また、その場ですぐ自分の意見や気持ちを発表することに対しては、苦手な様子が見られました。生徒が自分から英語を発することができるような場面設定や、即効性のあるコミュニケーション活動の指導の工夫が一層必要であると感じられます。3年生には修了証、2年生にはALTからのメッセージカードを送付することを予定しています。

最後に、先月お答えできませんでした、昨年度の野田市教育委員会アドバイザー相談結果について御報告いたします。

昨年度、石垣アドバイザーへの相談件数は26件でした。うち小学校関係の相談は20件、中学校関係の相談は2件、その他、学校教育部や子ども家庭総合支援課の職員からの相談もございました。相談は電話によるものが多くございますが、市役所での相談、アドバイザーが学校へ出向いての相談もございます。相談内容の多くは、保護者対応、第三者対応、生徒指導等でございました。

また、石垣アドバイザーによる小学校5年生対象の出前授業は、全小学校20校で実施いたしました。なお、南部小学校児童の自死の件につきまして、担当課指導主事は、アドバイザーが来庁される日は、ほぼ毎回相談に乗っていただいております。

以上、御報告申し上げます。

◎染谷教育長

ほかに報告事項がありましたらお願いします。

ないようですので、ただいまの報告事項につきまして、御質問、御意見等がありましたらお願いします。

高橋委員。

◎高橋委員

野田市のイングリッシュ道場、大変こういう厳しい状況の中での実施、大変御苦労さまでした。このイングリッシュ道場も、確か、教育長さんが部長をやられた時に始まった事業かと思うんですが、もう数年たちます。参加している子供たちの数も、累積で言えばかなりの数になるかなというふうに思うんですが、3年生よりも、2年生の参加者について、どういうふうな変容が見られているのか。そういったデータの的なものというのは、指導課の中にあるんでしょうか。例えばイングリッシュ道場に参加した子供たちは、こういうふうに変わってきたという、そういったものが累積されているのかなということをお伺いしたい。

◎染谷教育長

指導課長。

◎角田指導課長

指導主事に尋ねてみないと分かりませんが、おそらくこのように変容したというデータはとっていないかと思えます。

◎染谷教育長

高橋委員。

◎高橋委員

非常に煩雑な面もありますので、全員の累積っていうのは難しいかと思うんですが、主だった点だけでもですね、こういうふうな変容が見られたということがあれば、このイングリッシュ道場をやってよかったという結果になる。それがなければ、これまでの事業だから継続してるだけなんですという、そう言うしかないというふうに私は思います。ですので、是非そのデータを積み重ねていただきたい。と言いますのは、確かこのイングリッシュ道場というのは、最初は予算を確保するのが非常に難しかった。そういう中で始まった事業だと思えます。興風会館とかキックマンとか、そういったところから資金を、予算を補助してもらいながら始まった事業だったように思います。ですので、是非そういった累積というんでしょうか、良い点だけじゃないかもしれないんですが、悪い点があっても構わないと思えますので、是非そういう努力をしていただければというふうに思います。忙しい中でこういう要望は、ちょっと話しくらくもあつたんですが、是非、検討してみただければと思います。

以上です。

◎染谷教育長

指導課長。

◎角田指導課長

ありがとうございました。指導主事とも対話しながらですね、今後データができるように努力してまいります。

ありがとうございます。

◎染谷教育長

ほかにごございましたらお願いしたいと思えます。

伊藤委員。

◎伊藤委員

今の高橋先生の発言とちょっと重なるかもしれないんですけども、このイングリッシュ道場で、ALTの方の友人がジョージアの方と、多分ZOOMか何かでつながって英会話の練習をされたということだと思っんですけども、私も今、毎週土曜日に、アメリカの方を中心にやっていると時差がすごいんですよ。大体向こうが朝9時だとこっちが夜中の1時2時なので、もし、時間差で考えると、ニュージーランド、オーストラリア、東南アジア、フィリピン、シンガポールとかですと時差が少なく、今学校でネットが整備されているので、そういった英語圏の国々の子供たちと簡単につながるのかなど。一つの発展形として、将来そういう計画も立てると時差が少ない分、日本の学校の開設時間と向こうの学校の開設時間が大体1、2時間程度の差でしかなく、あるいは同じ時間タイムゾーンでやると、同じように子供たちが学校に行って、向こうも学校にいて、例えばオーストラリアなんかは、第二外国語を日本語で授業をやるというか、議論も学校によってありますので、向こうは日本語を勉強したい、それでこちらは英語を勉強したいというのがうまくつながると、このイングリッシュ道場の発展形として、将来面白いと思いました。

以上です。

◎染谷教育長

指導課長。

◎角田指導課長

同世代同士のコミュニケーション、今、お話を伺っていてそれは必要だなと思いましたので、指導主事、ALTとも会話しながら、今後取り入れてまいりたいと思います。

御指導ありがとうございました。

◎染谷教育長

ほかにございましたらお願いします。

飯田委員。

◎飯田委員

質問ではなく、意見というか要望なんですけど、教育委員会に直接市民の皆さんとか、保護者の方とかから、児童生徒さんも含めてなんですけど、相談事とか、いろいろ上がってくるのは、皆さんで多分共有なさると思うんです。ただ、学校若しくは学校の管理者以外の担任の先生とか、そういった方にいろいろな相談事とか報告とかがあったときに、ともすれば、その方限りでなかなか管理者の方にハウレンソウができてないというようなケースがもしあったときには、初期の対応が遅れて、いろんな大きなことになる、以降つながっていくというのは、いろいろ過去の日本の中のいろんな事例からもあるわけです。なので、要望なんですけども、そういったことに関して、些細なことでも学校の中若しくは教育委員会の中で共有していただいて、誤った対応をすることがないようにお願いできればなど。何かうまくまとまらないんですけど、ハウレンソウをしっかりしていただいて情報共有に努めていただければ、今もなさっていると思うんですけど、更にやっていただければ有り難いなという要望です。

返答は結構です。

◎染谷教育長

学校教育部長。

◎下川学校教育部長

今、飯田委員の方からあったようにですね、日常的に委員会の方にも保護者からの相談、

ちょっと言い方は悪いですがクレームですね、そういうのもございます。その場合には必ず、学校に相談されましたかということの確認しております。ただ、やはり学校に相談なくポンと来られるケースもありますので、そういう場合には、管理職を通して指導助言をしていただくようにしております。

我々の方も直接現場に行くことは少ないんですけども、校長会議あるいは校長会、あるいは先日臨時校長会議も行いましたので、そういう中で今御指摘あったハウレンソウの件ですね、まず相談だということ、報告だということは、教育長を始め我々も本当に事あるごとに伝えております。その中で、より良い対応をしていこうということで、この月末、また来週も校長会議がありますけれども、その中でもやはり校長先生方には、リーダーシップをとっていただく以上、そのハウレンソウが円滑になるように、学年の中で止まっているとか担任で止まっていることがないような職場づくりに尽力していただきたいなと思っております。

以上でございます。

◎染谷教育長

ほかにございましたらお願いします

永瀬委員。

◎永瀬委員

新型コロナウイルスの感染症が、結構大変なことになっている状態だと思うんですけど、実際、現場で診察していても先が見えないというか、まだ全然ピークがやってこない状態で、今後2週間が、まだまだどんどん増えていく可能性を残していると思います。9月からの授業、学校が始まることに対して、多分国も県もそうだと思うんですけど、最悪は、学校が始められるのかどうかということも、多分分からない状況になってくるかもしれないですし、始めたとしても、すぐ学校閉鎖になって、それがもう全国的に広まって、やっぱりちょっと授業再開は厳しいんじゃないかという状況になるかもしれないとも思っています。去年の4月、5月ぐらいの状況になりかねないと思っているんですが、その場合に関しても、準備といいますか、どうやっていこうかというものが用意できているのかどうか教えてください。

◎染谷教育長

指導課長。

◎角田指導課長

この8月で1人1台端末の納入が完了いたしますので、家に端末を持ち帰らせて、家庭学習で使わせるということは可能になってまいります。

ただオンライン学習、学校で各担任が授業を行い、家庭にいる児童全員とつなげるということが、ちょっと今の契約内容では難しいので、時間を設けて学年ごとにであるとか、クラスごとに配信する時間等を組み立てていかなければならないなど考えてはおります。今、自主教材としても使えるEライブラリーとかを活用しながら、学校での授業ができない分の補填とかを進めてまいりたいと思いますが、ちょっと十分な準備ができていないかなとは思っています。

◎染谷教育長

ありがとうございました。

ほかにありますらお願いします。

ないようでございますので、以上で教育長の報告事項を終了いたします。

本日の議題は、全て終了しました。

以上をもちまして、本日の教育委員会定例会を閉会いたします。

以上会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

教育長

委 員